

●柱Ⅱ おもてなし環境・基盤の整備

●静内高校 地理歴史公民科「日高地域研究」

静内高校3年生の地理歴史公民科「日高地域研究」の中で全5時間にわたり、地域おこし協力隊の樋口隊員を講師に「日高の未来を考えよう」をテーマにした講義やワークショップが行われ、どのような方法で人を呼び込むこと（おもてなし）ができるかなどについて考え、「富裕層高齢者お一人様向けツアー&高齢者同士の交流」、「婚活イベントの実施」、「インスタ映えするフォトスポットの作成（ラブベンチの設置）」、「ピュアの再開発による有効活用」と題したまちおこし策について作成しました。

最終回では、町議会議場で酒井町長や細川議長、町議会議員が出席するなか、これまでの学習成果について発表し、報告書を提出しました。



●Hidaka Player's Talk 2017

地域おこし協力隊の樋口隊員が企画し、日高にかかわる町内外の方が仕事や趣味などに関する自身の活動や思いについて語るトークイベントを全5回開催し、延べ16人が発表者として登壇しました。また、その後の懇親会などを通じて、発表者や来場者が参加し、講演会での内容について話を深めるなど、職種や年齢を問わず、人と人との交流が行われました。



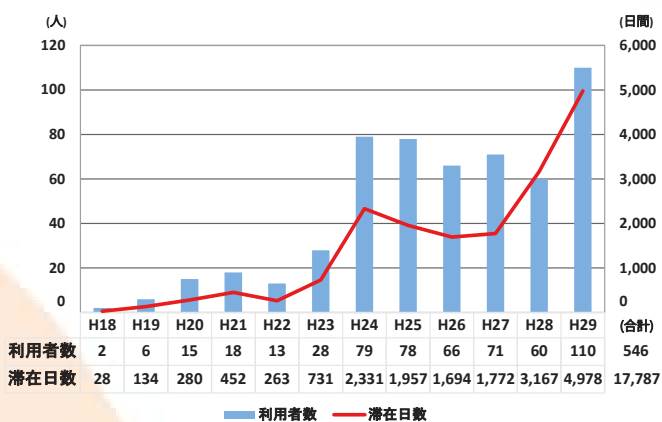
●柱Ⅲ 移住・定住の促進

●ちょっと暮らし体験住宅

移住を検討している方を対象に、1週間から約1年間までの滞在期間で、その土地の暮らしを実際に体験してみることができる「ちょっと暮らし体験住宅」を平成18年度から行っています。各住宅には家具・家電・駐車場を完備し、最低限の食器や調理道具等も備えてあり、すぐに生活が始まります。

現在、10戸の体験住宅を用意しており、利用実績は延べ270組546人、延べ滞在日数17,787日間となり、9組22人の完全移住、7組15人が二地域居住されています（平成30年3月15日現在）。

また、平成28年度には「ちょっと暮らし」利用実績（滞在日数）で全道3位となり、新ひだか町が多くの方に移住先として検討していただいていることがわかります。



新ひだか町ちょっと暮らし体験住宅
利用者数・滞在日数推移（H29は見込み）

◆馬産地コンシェルジュ

目的：移住相談窓口の機能を充実させたり、馬産地情報WEBサイト「ゆうう生活」への情報掲載をすることで移住検討者への情報提供や相談を行う

移住者カフェの開催（運営サポート）を行うことにより、体験移住者及び移住者同士が交流する機会を設ける

民間ボランティアの移住サポーターの協力を得て、移住検討者への情報提供や相談対応の充実を図っています。

また、同様に協力を得て、平成29年度は、移住交流カフェを4回開催しました。



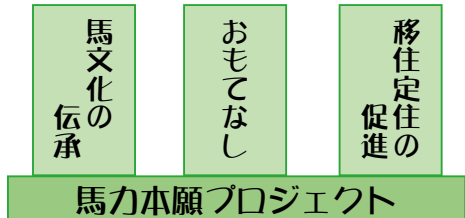
馬力本願プロジェクト 活動報告



本プロジェクト策定時のアクションプランに基づきながら、これまでの活動や今後の活動について報告します。

●馬力本願プロジェクトとは

新ひだか町が地方創生の取組として進めているものです。平成28年度までの構想・計画策定の期間を経て、平成29年度から本格的な実行段階に移り、3本の柱「子どもたちへの馬文化の伝承」、「おもてなし環境・基盤の整備」、「移住定住の促進」を中心に各種事業を展開しています。



●柱Ⅰ 子どもたちへの馬文化の伝承

◆お馬の教室事業

目的：馬に関する知識を学び、親近感や愛着等を深めてもらう

●新ひだかうまキッズ探検隊

地域おこし協力隊の糸井隊員が企画し、小学5年生から中学3年生を対象とした馬について学ぶ事業で、特別編1回を含めた全10回にわたり、町内をはじめ、様々な軽種馬産業者等のご協力により、新ひだか町が馬産地となった歴史やサラブレッドが競走馬になるまでの過程、調教師、装蹄師などの職業について学びました。

平成29年度は、普段から趣味などで馬に携わっている11名の馬好きな子どもたちが集まりました。

来年度は、馬が身近ではない子どもたちでも気軽に参加できるような工夫を加え、4月以降に募集し、活動を行っていく予定です。



●第2回しずのう馬育プログラム・馬と学ぼう

静内農業高校との共催で、同校馬活用研究班を中心に小学生を対象とした馬について学び・触れ合う1日体験プログラムを考え、5名が参加し、高校生が先生となって馬に関する座学やクイズ、ひき馬リレー、乗馬体験、手入れ体験などを行いました。



●静内小学校 総合的な学習の時間「新ひだか町の馬について調べよう」

静内小学校5年生の総合的な学習の時間で全17時間にわたり、馬や馬産地の歴史、装蹄師、獣医師、牧場の1日について学び、グループに分かれてまとめ、同校の総合発表会で、6年生や教職員、保護者の方々に前に、紙芝居やペープサートなどの工夫を凝らした発表を行いました。



◆馬に関するイベント

●第3回ひとづくりまちづくりセミナー

JRA栗東トレーニングセンターの角居勝彦調教師を講師に、日本の競馬が抱える問題や課題、引退競走馬のセカンドキャリアなどについて講演していただき、200名を超える方が来場しました。



来年度は、「ひだかうまキッズ探検隊」をバージョンアップさせ、子どもたちに馬について、もっと興味を持ってもらえるような企画を行っていきたく考えています。

また、「涼夏少雪の郷」の魅力をPRし、多くの方が新ひだか町に移り住んでもらえるように、「ちょっと暮らし体験住宅」をはじめとする、移住・定住事業を推進していきます。